



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

# 2023年度

# 市民公開授業

国際医療福祉大学では、大学の一部の授業を「市民公開授業」として地域の方に公開しています。

## 募集要項

### 【開講科目】

# 総合講義（現代社会をどう見るか） [全8回]

### 【科目概要】

いまこの時代に生きる私たちはどのような生き方やあり方が求められるのでしょうか？「現代社会をどう見るか」を共通のテーマとして、外部の著名人や本学所属の経験豊富な教員が、主に日本や世界における課題・問題などについて講義を行います。各講師の広い視野から多角的多面的に物事を考えようとする姿勢や正しく判断する力、客観的に分析する力を学んでいきましょう。

### 【開講期間】

**11月11日（土） ▶ 2024年1月19日（金）**

※講義初日が11月10日（金）から変更となりました

### 【場所】

**E棟1階101教室**

### 【受講料】

**無料**

### 【申込方法】

①オンラインからお申込の場合  
右記QRコードからお申込ください。



②本紙に添付の申込用紙を使用される場合

大学教務課窓口へ持参していただくか、郵送もしくはFAXでお申込ください。

※申込用紙は大学教務課窓口にあるほか、大学HP <https://otawara.iuhw.ac.jp> からも取得できます。

③当日のお申込も可能です。直接受付までお越しください。

※オンライン受講日は、講師がオンラインシステム（ZOOM）を通じて、学外から講義の生配信をいたします。11月24日は講師が学内の教室にいませんので、ご了承ください。

### 【講義内容（全8回）】

※授業日程、内容などは変更になる場合があります。  
担当講師は別紙をご確認ください。

1. (11/11) 最先端の病院機能を支える中央診療部門
2. (11/24) 健康を獲得する力 ※オンライン受講日
3. (12/1) グローバル時代をタフに生き抜くために
4. (12/8) 一人ひとりの、生きるに、生きる
5. (12/15) どうなるアフターコロナの医療と社会保障（仮）
6. (12/22) 人口減少社会を考える - 未来への責任 -
7. (1/5) 元・財務官が語る最近の国際情勢
8. (1/19) 愛着障害と発達障害を考える

■お問い合わせ先 国際医療福祉大学 教務課（担当：江連・佐藤・上田）

TEL：0287-24-3209 FAX：0287-24-3100 URL：<https://otawara.iuhw.ac.jp/index.html>

# < 講 師 紹 介 >

第1回 11月11日（土） 16:20～17:50

## 最先端の病院機能を支える 中央診療部門

国際医療福祉大学大学院 大学院長  
**矢富 裕** 教授

2023年4月より国際医療福祉大学大学院長、同年6月より東京大学名誉教授。

1983年に東京大学医学部卒業、医学博士。

元東京大学大学院医学系研究科教授（2005年4月～2023年3月）、東京大学総長補佐・教育研究評議員、医学系研究科副研究科長・医学部副学部長、医学部附属病院副病院長。

専門は内科学、臨床検査医学、血栓止血学、脂質生物学で、日本内科学会（2018年～2022年）、日本臨床検査医学会（2016年～2020年）、日本医療機器学会（2017～2021年）、日本検査血液学会（2020～2023年）の理事長を歴任。

第2回 11月24日（金） 16:20～17:50

## 健康を獲得する力

国際医療福祉大学大学院 副大学院長  
元日本看護協会会長

※オンライン受講日

**福井 トシ子** 教授

1982年東京女子医科大学看護短期大学専攻科修了、翌年福島県立総合衛生学院保健学科修了。

その後、看護師、助産師、保健師として、東京女子医科大学病院、杏林大学医学部付属病院において勤務するなど、30年以上にわたり看護・助産・管理業務に従事。

2010年日本看護協会常任理事、2017年日本看護協会会長に就任し2023年6月7日任期満了にて退任。

2023年6月8日国際医療福祉大学大学院へ着任。

日本看護協会では全国の看護職の役割拡大と人材育成に尽力。また、厚生労働省審議会委員等の公職を歴任されるなど、医療・福祉分野の第一人者として活躍している。特にコロナ禍において、医療現場の最前線に立つ看護職員の処遇改善や業務負担軽減を図るなど、医療提供体制整備に大きな役割を果たすとともに、公共の福祉の増進に多大な貢献をした。

コロナ禍で再認識された健康に対する価値を揺るぎないものとすべく、セルフケア獲得支援に向けた活動を強化している。

第3回 12月1日（金） 16:20～17:50

## グローバル時代をタフに生き抜くために

国際医療福祉大学大学院

**木村 伊量** 特任教授

早稲田大学政治経済学部卒業。朝日新聞ワシントン特派員、政治部長、東京本社編集局長、ヨーロッパ総局長などを経て、2012年に代表取締役社長に就任した。2014年に英国エリザベス女王から大英帝国名誉勲章（CBE）を受章。

2016年英セインズベリー日本藝術研究所シニア・フェロー。現在、本学特任教授を務める。近著に『私たちはどこから来たのか 私たちは何者か わたしたちはどこへ行くのかー三酔人文明究極問答ー』『遥かなるリコ』がある。

第4回 12月8日（金） 16:20～17:50

## 一人ひとりの、生きるに、生きる

株式会社ツムラ

代表取締役社長CEO

**加藤 照和** 氏

1963年愛知県生まれ。

1986年中央大学商学部卒業後、津村順天堂（現・株式会社ツムラ）入社。

2001年TSUMURA USA, INC. 取締役社長、Pacific Marketing Alliance, Inc. 取締役社長に就任。

2006年広報部長、2007年理事コーポレート・コミュニケーション室長、2011年取締役執行役員などを経て、2012年代表取締役社長、2019年より現職。



第5回 12月15日（金） 16:20～17:50

## どうなるアフターコロナの 医療と社会保障（仮）

日本経済新聞社 編集委員

**大林 尚** 氏

日本経済新聞社編集委員。1984年早稲田大学卒業、日本経済新聞社入社。千葉支局記者などを経て1990年から東京本社経済部記者として通商産業省（現経済産業省）、日本銀行、経済企画庁（現内閣府）、厚生省（現厚生労働省）などの記者クラブに所属し、経済政策の立案現場取材した。1999年経済部次長。2002年編集委員、2005年から論説委員を兼務し医療・年金改革、消費税と財政、規制改革、独占禁止法などに関する社説とコラムを多数執筆。2014年から欧州編集総局編集委員、欧州編集総局長としてロンドンに駐在し、EU各国の社会保障・税制の現場やBREXITを決めた英国国民投票取材。2017年に帰任し、上級論説委員、2021年から現職。慶応義塾大学総合政策学部特別招聘教授。2023年から武蔵野大学客員教授。編著書に「年金を問う」（日本経済新聞出版社）、「人口減少～新しい日本をつくる」（同）、「みんなの金融」（新泉社）など（いずれも分担執筆）。

第6回 12月22日（金） 16:20～17:50

## 人口減少社会を考える －未来への責任－

内閣官房参与

国際医療福祉大学 人口戦略研究所所長

**山崎 史郎** 氏

東京大学法学部卒業。厚生省（現厚生労働省）入省。同省高齢者介護対策本部次長、内閣府政策統括官、総理秘書官、厚労省社会・援護局長、地方創生総括官を歴任。介護保険制度の立案から施行まで関わったほか、生活困窮者支援、少子化対策、地方創生などを担当。2018年7月から駐リトアニア特命全権大使を務め、リトアニア政府から功績により外交スター勲章を授与。2022年1月から現職。国際医療福祉大学人口戦略研究所長、日本医療大学客員教授を務める。著書は「人口戦略法案－人口減少を止める方策はあるのか」（2021年、日本経済新聞出版）など。

第7回 1月5日（金） 16:20～17:50

## 元・財務官が語る最近の国際情勢

元財務官

国際医療福祉大学

**山崎 達雄** 特任教授

東京大学法学部卒業。1980年大蔵省（現財務省）入省。外務省在フランクフルト日本国総領事館領事、JBIC開発金融研究所主任研究員（在シンガポール）、金融庁総務企画局参事官（競争力強化・国際担当）、国際局長を歴任。2014年より財務官を務めた後、2015年に退官。現在は本学特任教授を務める。

第8回 1月19日（金） 16:20～17:50

## 愛着障害と発達障害を考える

国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス

赤坂心理・医療マネジメント学部

心理学科学科長

**橋本 和明** 教授

名古屋大学教育学部を卒業し、家庭裁判所調査官として勤務。専門は非行臨床、犯罪心理学および児童虐待。武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科修士課程修了後、花園大学社会福祉学部長、同大学院社会福祉学研究科長などを経て、2022年4月本学着任。厚生労働省社会保障審議会専門委員、同省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室「児童相談所における一時保護の手続等の在り方に関する検討会」委員を務める。